

第2回 軽金属女性未来賞受賞者表彰

軽金属女性未来賞は、軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ、将来の活躍が期待される新進気鋭の女性研究者または女性技術者に贈られるもので、平成21年度に創設された。軽金属女性未来賞選考委員会（委員長 小野幸子）の審査を経て、9月14日（火）に開催された(株)軽金属学会第105回理事会において慎重審議の結果、下記のとおり1名の授賞を決定、(株)軽金属学会第119回秋期大会第1日目の11月13日（土）に長岡技術科学大学において表彰式を挙行了た。

受賞者



上田 薫 君
(住友軽金属工業
株式会社)

表彰理由

上田 薫君は、入社後、自動車ボディシート用のアルミニウム合金板を対象に、表面処理性の評価、改善に貢献した。当時、リサイクルを目的とした6000系合金採用の動きの中で、特に表面処理性の改善が求められていた。表面処理性に影響を及ぼす要因を調査し、素材の機械的特性を維持しながら、表面処理性を改善した6000系合金(SG212)を開発した。さらに、今後のアルミニウム使用車の増加が予測されることから、需要に先駆けて、自動車ボディシートのリサイクルを目的とした連続鋳造材の研究を行った。連続鋳造材の特徴的な欠陥のひとつであるリップルマークには不純物元素が濃化していることや、その結果、耐食性が低下することを明らかにした。また、不純物鉄量が増加した場合の存在状態を明確にし、この存在状態と耐食性の関係から、不純物鉄の許容限界を明らかにした。さらに自動車ボディシートの成形性向上のための潤滑プレコート材を開発するなど、塗膜設計等の周辺技術まで幅を広げ、現在は、トライボロジー技術を用いた製品開発のほか、生産性向上や品質改善に取り組んでいる。

一方、軽金属学会『女性会員の会』の会員として、また、社内での若手女性総合職が増加する中、女性研究者が働きやすい環境を作るために貢献してきた。同君は、今後のグローバル社会での技術革新における貢献と活躍が多いに期待される。